

東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事

図面番号	図面名称
設－７－０	表示 図面リスト
特－１	特記仕様書 １
特－２	特記仕様書 ２
特－３	特記仕様書 ３
特－４	特記仕様書 ４
設－７－１	位置図
設－７－２	一般図
設－７－３	塗装工
設－７－４	足場工（１）
設－７－５	足場工（２）
設－７－６	付帯施設工
設－７－７	支障木処理

特記事項		愛郷設計株式会社	業務名称	工事名称			
訂 正			東京大学(秩父)矢竹沢橋改修設計業務	東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事			
・				図面名称		縮 尺	図面番号
・				表紙 図面リスト		1	設－７－０
・							
・							

[illegible]

概要図

2 章 材 料										
(2.2.1) 盛 土 ・ 埋 戻 土	本工事に使用する土は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
	掘削土	レキ質土	土砂除去工	発生土						
	同上	同上	橋台補強工	同上						
(2.3.2) 敷	石	本工事に使用する敷石は、次による。								
		材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.3.3) 積	石	本工事に使用する積石は、次による。								
		材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
		割石	25cm内外	練石積工						
(2.3.7) 基 礎 材 料 等	本工事に使用する基礎材料は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
	裏込砕石	RC-40	橋台補強工							
(2.3.8) 粒 状 路 盤 用 材 料	本工事に使用する粒状路盤用材料は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.4.1) 材 料 一 般	本工事の軟弱地盤改良に使用する安定材は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.5.1) 材 料 一 般	鋼 製 ぐ い 及 び 鋼 矢 板	本工事に使用する木材は、次による。								
		材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
		〇〇工に使用する木材は、設計図面による。								
(2.6.2) 構造用圧延鋼材	本工事に使用する構造用圧延鋼材は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
		〇〇工に使用する構造用圧延鋼材は、設計図面による。								
(2.6.3) 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 用 棒 鋼	本工事に使用する鉄筋コンクリート用棒鋼は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
		〇〇工に使用する鉄筋コンクリート用棒鋼は、設計図面による。								
(2.6.4) 軽 量 形 鋼	本工事に使用する軽量形鋼は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
		〇〇工に使用する軽量形鋼は、設計図面による。								
(2.6.5) ボ ル ト	本工事に使用するボルトは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.6) 鋼 管	本工事に使用する鋼管は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.7) 鍛 鋼 品 ・ 鋳 鋼 品 及 び 鋳 鉄 品	本工事に使用する鍛鋼品・鋳鉄品及び鋳鉄品は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.9) 金 網	本工事に使用する金網は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.10) 鋼 製 ぐ い 及 び 鋼 矢 板	本工事に使用する鋼製ぐい及び鋼矢板は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.11) 鋼 製 支 保 工	本工事に使用する構造用圧延鋼材、鋼管は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.12) 鉄 線 じ ゃ か ご	本工事に使用する鉄線じゃかごは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.13) コ ル ゲ ー ト パ イ プ	本工事に使用するコルゲートパイプは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.14) ガ ー ド レ ー ル ・ ガ ー ド パ イ プ	本工事に使用するガードレール・ガードパイプは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.6.16) ワイヤーロープ	本工事に使用するワイヤーロープは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.7.2) ネ ッ ト フェ ン ス	本工事に使用するネットフェンスは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.7.3) 金 属 格 子 フェ ン ス 及 び 門 扉	本工事に使用する金属フェンス及び門扉は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.7.4) 防 球 ネ ッ ト	本工事に使用する防球ネットは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.8.2) セ メ ン ト	本工事に使用するセメントは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.8.3) 混 和 材 料	本工事に使用する混和材料は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
(2.9.1) レディーミスト コンクリート	本工事に使用するJIS規格以外のコンクリートは、次による。									
(2.9.2) 設計基準強度等	本工事に使用するコンクリートの設計基準強度等は、次による。									
	基礎コンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量					
		25	8							
		混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量					
		18	普通							
	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量						
	混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量						
2.10.2 セメントコン クリート製品 (JIS規格品)	本工事に使用するセメントコンクリート製品(JIS規格品)は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等(mm)	使用工種	備 考						
2.10.3 セメントコン クリート製品 (JIS規格品以外)	本工事に使用するセメントコンクリート製品(JIS規格品以外)は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
2.11.2 舗 装 用 石 油 ア ス フ ェ ル ト	本工事に使用する舗装用アスファルトは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
2.12.1) ア ス フ ェ ル ト 混 合 物	本工事に使用する舗装用アスファルトは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
アスファルト混合物の事前審査制度の認定を受けた混合物は認定書の写しを事前に提出することによって、材料の基準試験に代えることができる。										
(2.13.1) インターロッキング ブ ロ ッ ク	本工事に使用するインターロッキングブロックは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
2.13.2) コ ン ク リ ー ト 平 板 等	本工事に使用するコンクリート平板は、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
2.13.3) 視 覚 障 害 者 誘 導 用 ブ ロ ッ ク	本工事に使用する視覚障害者誘導用ブロックは、次による。									
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考						
東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	工 事 名 称 東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事									
	図面名称 特 記 仕 様 書 2									
		課長	副課長	上席係長	係長	担当	縮尺 No Scale		年度 令和8年	図面番号 特-2

概要図

(2.14.2) スクリーニング試験	本工事に使用するスクリーニングスは、次による。								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.14.3) 運動場用土	本工事に使用する運動場用土は、次による。								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.14.5) 表層安定剤	本工事に使用する表層安定剤は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.14.7) 全天候系舗装の表層材	本工事に使用する全天候系舗装の表層材は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.14.8) 付属品及び 附帯設備	本工事に使用する付属品及び附帯設備は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.1) 植栽土	本工事に使用する植栽土は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.2) 樹木	本工事に使用する樹木は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.3) 芝	本工事に使用する芝は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.3) 地被植物	本工事に使用する地被植物は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.5) 土壌改良材	本工事に使用する土壌改良材は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.6) 種子吹付材等	本工事に使用する種子吹付材等は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.7) 風除支柱材	本工事に使用する風除支柱材は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.8) 肥料	本工事に使用する肥料は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.15.9) マルチング材	本工事に使用するマルチング材は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.16.1) 目地材	本工事に使用する目地材は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.16.2) 塗料	本工事に使用する塗料は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
	有機シンクリッチェイント		下塗り						
	弱溶剤形ふっ素樹脂		中塗り						
	弱溶剤形ふっ素樹脂		上塗り						
(2.16.3) 区画線	本工事に使用する区画線は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.16.4) タイル	本工事に使用するタイルは、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.16.5) 合成樹脂製品	本工事に使用する合成樹脂製品は、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
(2.16.6) 安定シート・ 透水シート	本工事に使用する安定シート・透水シートは、次による								
	材 料 名	規格・寸法等	使用工種	備 考					
3章 仮設工									
(3.1.2) 施 工 一 般	《指定仮設とする場合》 (1) _____ 工の施工に伴う仮設は、_____ 構造図に基づき施工するものとするが、受注者の施工に先立ち、現地の状況を十分に把握し安全性、社会性、経済性等について十分な検討を行う。 (2) _____ 工の施工に伴う仮設の技術的検討結果は、その内容を施工計画書に記載し提出する。 (3) 工事の施工は、受注者の責任において行う。 (4) 設計条件等は、以下のとおりとする。 ①地形・地質は設計図に示すとおり。 ②設計計算に用いる地盤物性値、積載荷重、安全率等の設計条件は以下のとおり。 《任意仮設とする場合》 (1) _____ 工の施工に伴う仮設は、受注者が施工に先立ち現地の状況を十分に把握し、安全性、社会性、経済性等について十分な検討を行い、受注者の責任において決定し施工する。 (2) 仮設施工法の設計にあたっては、以下の事項に留意する。 ①地盤面下 _____ m の位置に直径 _____ m の _____ が埋設されている。 ②現場が _____ に接しており、騒音・振動の少ない工法を選定する。								
課長		副課長	上席係長	係長	担当	縮尺		年度	図面番号
東京大学 The University of Tokyo		東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事				No Scale		令和8年	特-3
図面名称		特記仕様書 3							

(4.4.2)
路床安定処理工

路床安定処理工は、下記による。
(1) 安定材は、_____とする。
(2) 設計CBRは、_____%(合成CBR)とする。
(3) 配合量は、割増しを含み _____kg/m³とする。
東がただし、施工に先立ち配合試験により決定するものとする。
(4) 混合深さは、施工基面から _____mm以上(ラップ幅 100mm以上)とする。

(4.4.3)
置換土工

(1) 置換材料は _____土とする。
(2) 置換深さは、施工基面より _____mm以上とする。

(4.4.4)
サンドマット工

(1) サンドマット工に使用する材料は、_____ (0.075mmふるい通過量が 0～8%)とし、仕上げ厚さは _____cmとする。
(2) 安定シート工に使用する材料は、_____とし、ラップ幅は _____mmとする。

(4.4.5)
バーチカルドレーン工

バーチカルドレーン工に使用する材料は、_____ (_____)とし、本数、くい径、長さは図示による。

(4.4.6)
締固め改良工

締固め改良土に使用する材料は、_____ (_____)とし、本数、くい径、長さは図示による。

5章基礎工

(5.2.2)
杭基礎一般

杭基礎は、下記による。
《鋼杭またはプレキャストコンクリート杭の場合》
(1) 工法は、〇〇杭工法とする。
(2) 本数、形状寸法は、図示による。
(3) 試験ぐいは、〇本行うものとし、施工に先立ち位置、工法等について監督職員と協議する。
《場所打コンクリート杭の場合》
(1) 工法は、〇〇杭工法とする。
(2) 本数、形状寸法は、図示による。
(3) 試験杭は、〇本行うものとし、施工に先立ち位置、工法等について監督職員と協議する。

7章舗装工

(7.7.4)
コンクリート舗装の表面仕上げ

9章排水工

(9.3.1)
施工一般

硬質塩化ビニル管の継手方法は、_____継手とする。

11章法面保護

(11.2.2)
コンクリートブロック積(張)工

コンクリートブロック積(張)工の工法は _____ とする。

(11.3.1)
施工一般

法面保護に使用する芝は _____ とし、工法は、 _____ とする。

(11.3.2)
(切土法面)

張芝工は、 _____ 張りとする。

(11.3.7)
植生筋工
(人工筋芝(種子帯))

植生筋工の幅は _____ cmとする。

(11.4.1)
施工一般

〇〇吹付材料は、下記による。
(1) 単位セメント量は、 _____ kg/m³以上とする。
(2) 水セメント比は、 _____ %とする。
(3) 細骨材量は、 _____ kg/m³とする。
(4) 参考配合比は、 _____ とする。

(11.5.1)
施工一般

中詰工は、 _____ とする。

12章運動場

(12.2.4)
天然芝舗装

表層工(芝仕上げ)は _____ とする。

(12.3.1)
施工一般

全天候系舗装の工法は、 _____ とする。

13章環境緑化

(13.3.3)
地被類植栽工

平面芝張工 _____ 張りとする。

14章取りこわし及び舗装補修

(14.3.1)
路面切削工

路面切削工の縦横断測量間隔は _____ mとする。
なお、平均切削深さは _____ mmとする。

(14.3.2)
舗装打換え工

舗装打換え工の補充材料 _____ とし、補充量は、 _____ m³/m²とする。

(14.3.3)
オーバーレイ工

オーバーレイ工の縦横断測量間隔は、 _____ mとする。

(14.3.4)
路上路盤再生工

添加材： _____ 使用量： _____ m³/m²
補足材： _____ 使用量： _____ m³/m²

塗膜除去、素地調整、産廃処分

塗膜除去

塗膜剥離剤塗布・塗膜除去

素地調整

プラスト処理(回収・積込)

産廃処分

塗膜成分試験

塗膜処分の受入先証明情報を監督職員に提出する

年度

令和8年

図面番号

特-4

工事名称

東京大学農学部附属秋父演習林矢竹沢橋改修工事

図面名称

特記仕様書 4

課長

副課長

上席係長

係長

担当

縮尺

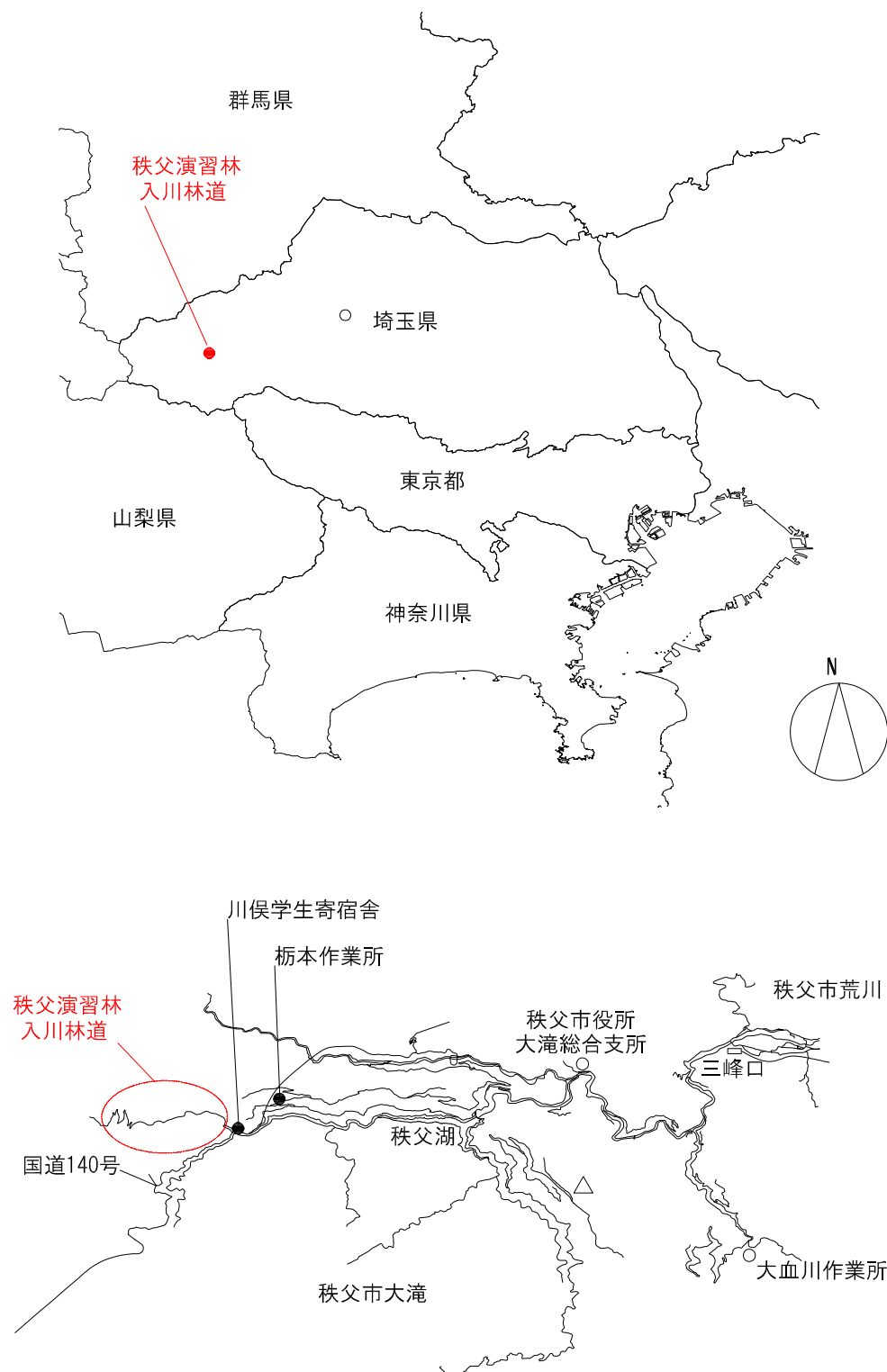
No Scale

東京大学

The University of Tokyo

概要図

概要図



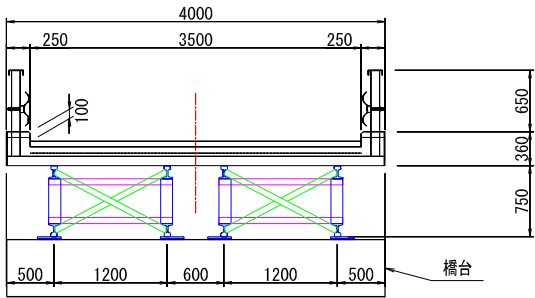
特記事項	業務名称	工事名称	 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO		
	東京大学（秩父）矢竹沢橋改修設計業務	東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事			
	愛郷設計 株式会社	印	図面名称	縮尺	年度
			位置図	NOSCALE	R 8
					図面番号
					設 - 7 - 1

概要図

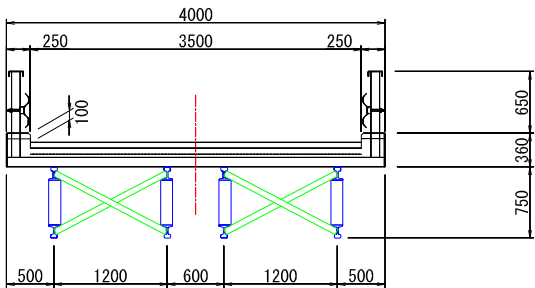
断面図 S=1:80

第1・第3径間

端部对傾構

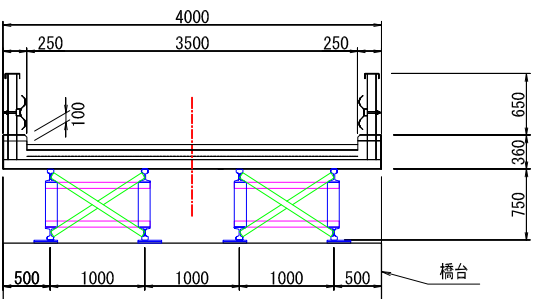


中間対傾構

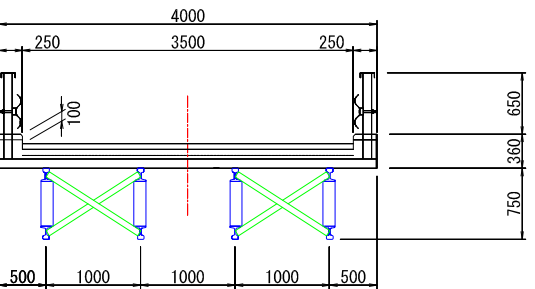


第2 径間

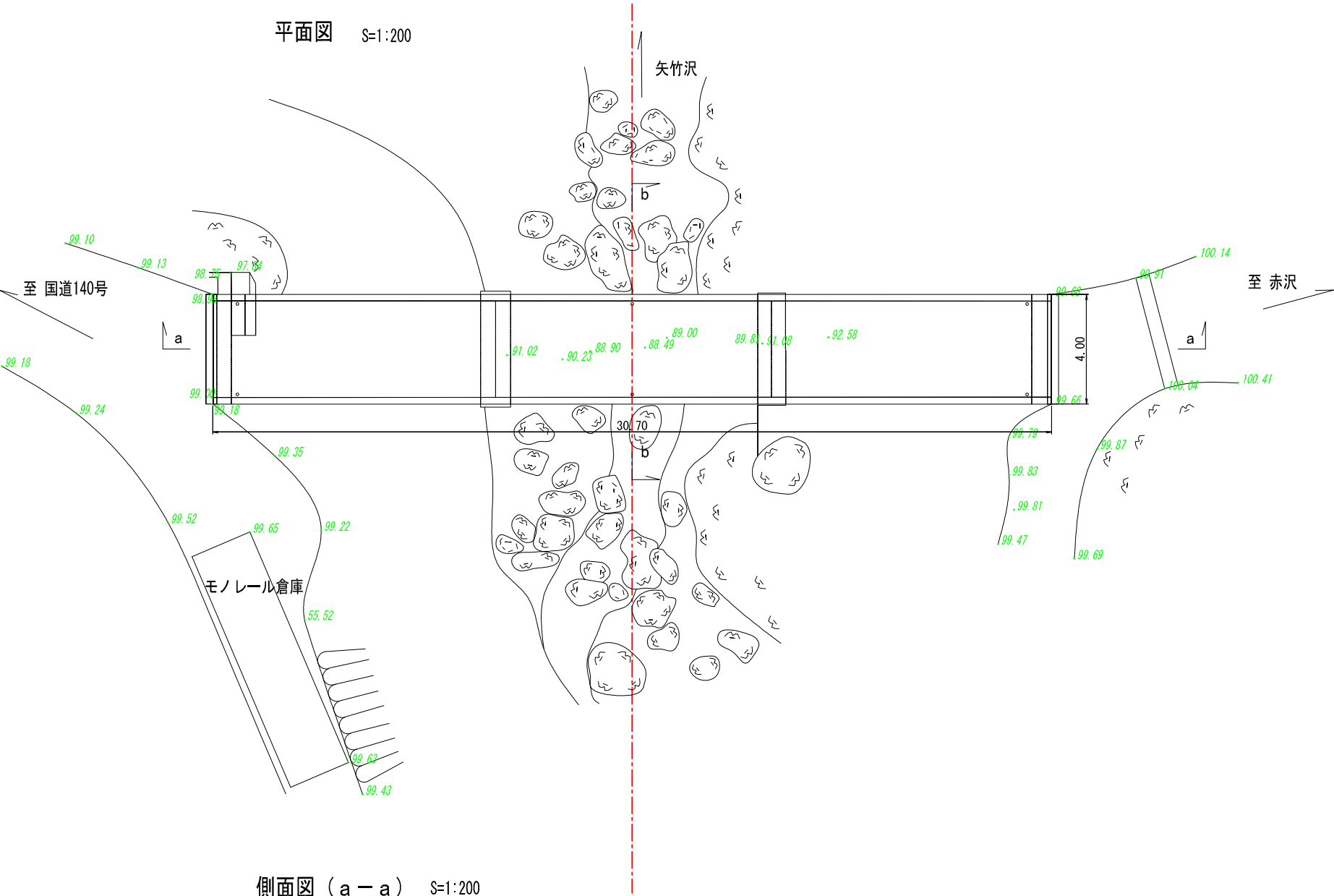
端部対傾構



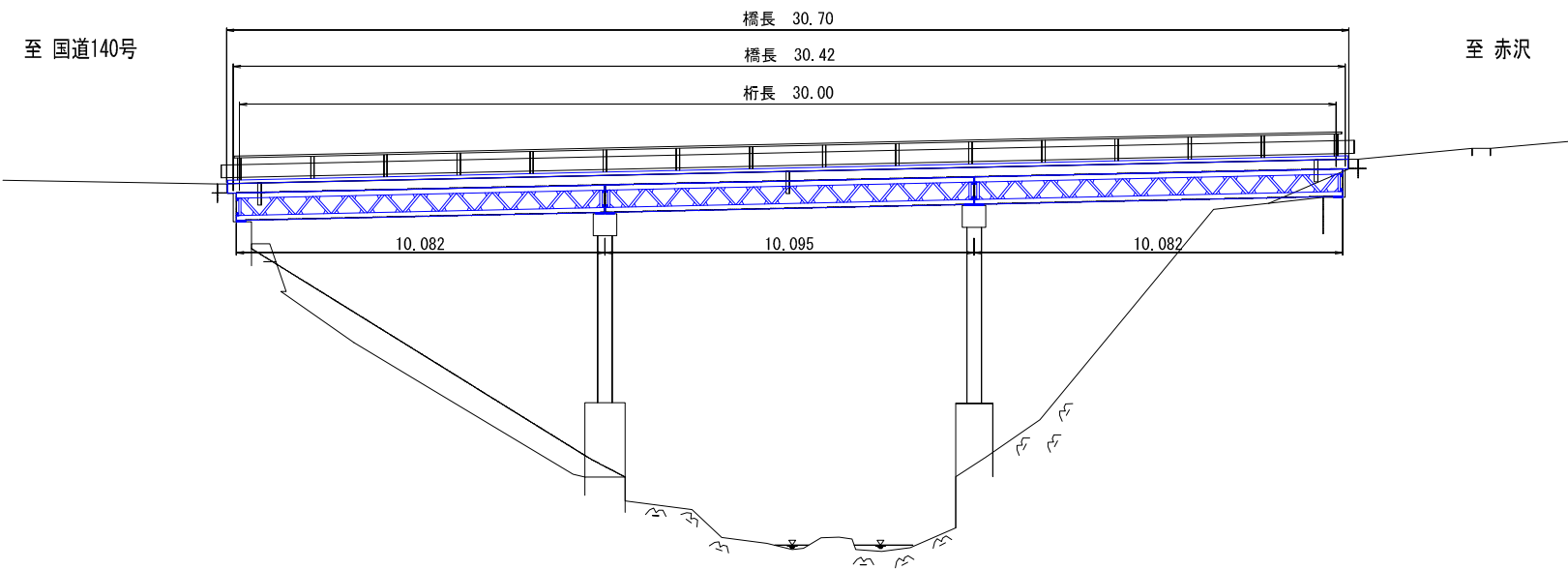
中間対傾構



平面图 S=1:200



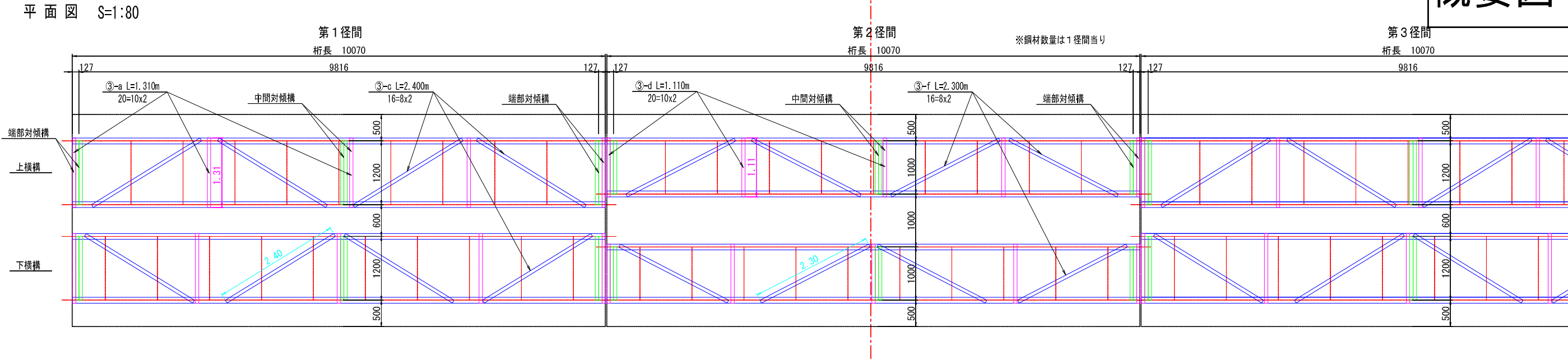
側面図 (a-a) S=1:200



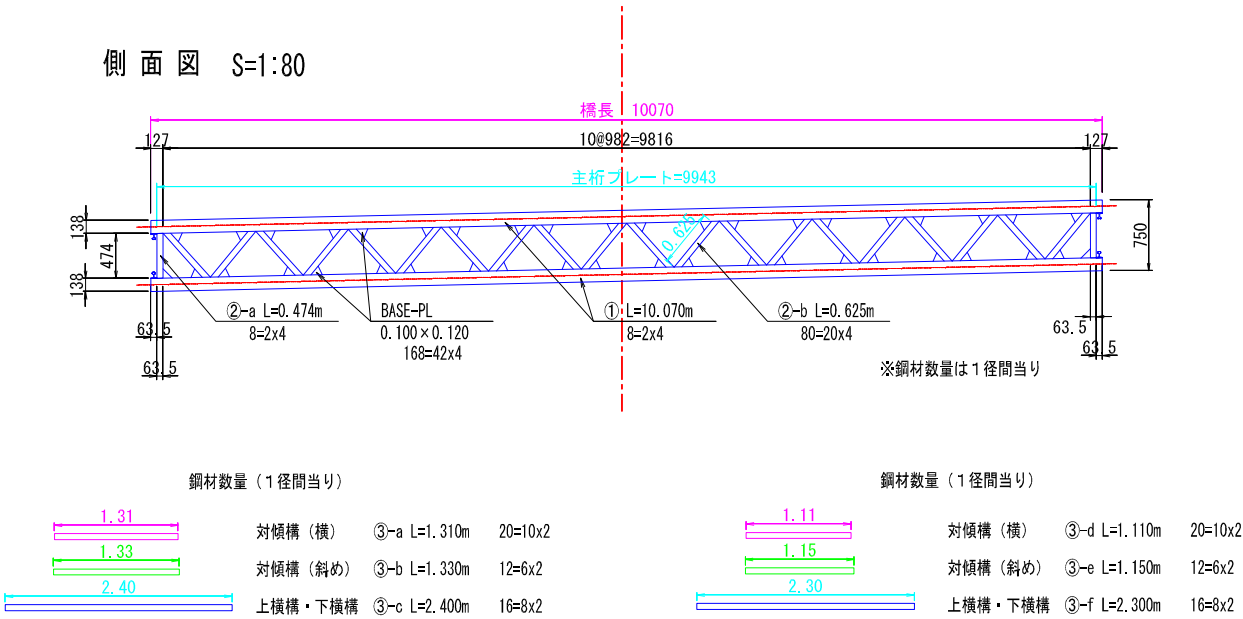
特記事項	業務名称		工事名称		東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO			
	東京大学（秩父）矢竹沢橋改修設計業務		東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事					
	愛郷設計 株式会社	印	図面名称		縮尺		年度	図面番号
			一 般 図		図 示		R 8	設 - 7 - 2

概要図

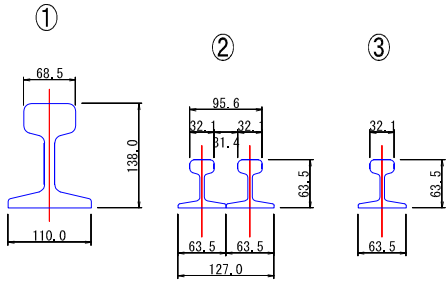
平面図 S=1:80



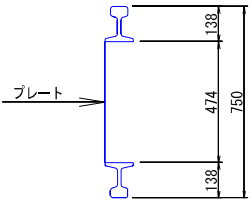
側面図 S=1:80



部材断面図 S=1:10



主桁断面 S=1:30



塗装面積表

ブランクシート

種 別	寸 法	面 積	単位面積	塗装面積	摘 要
t=3.2	4.00x30.65	122.6	1.35	165.51	
計				165.51 m2	

プレート

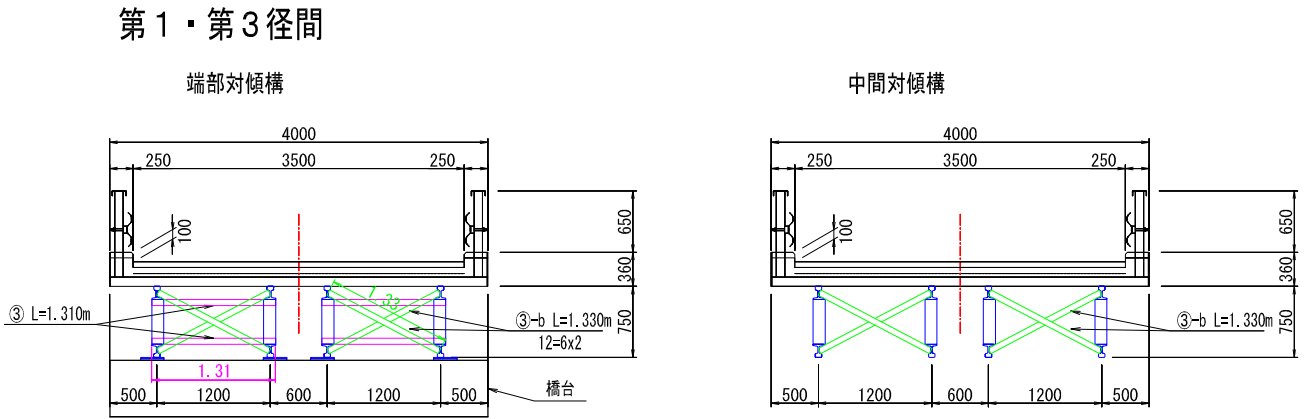
種 別	寸 法	枚 数	両面/片面	1枚当り面積	塗装面積	摘 要
地覆横	0.36x30.65	2	片面	11.034	22.07	↓
主桁	0.474x9.943	12 (=4(1径間当り)x3)	両面	9.426	113.11	↓
BASE-PL	0.10x0.12/2	504 (=168(1径間当り)x3)	両面	0.012	6.05	△
計					141.23 m2	

レール

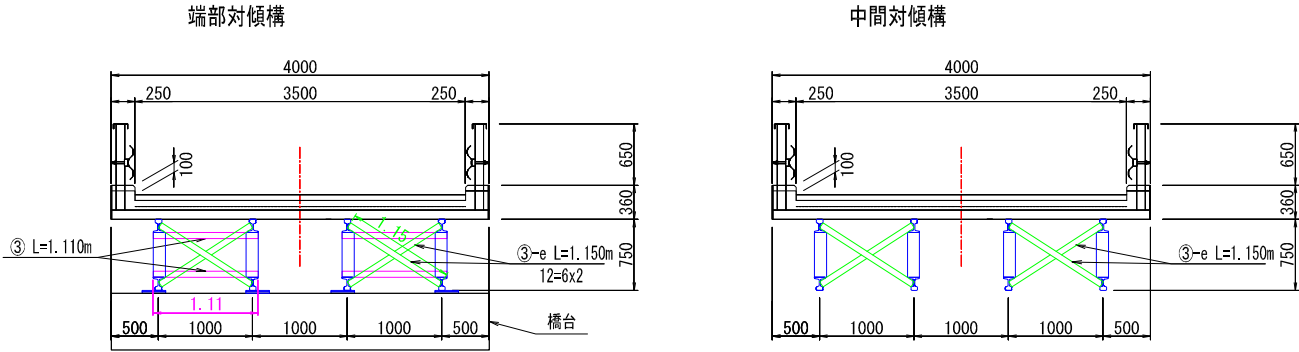
記 号	種 別	長 さ	1径間当り	径間	単位面積	1本当り面積	塗装面積	摘 要
①	主桁	10.070	8	1~3	0.549	5.528	132.67	↓
②-a	主桁	0.474	8	1~3	0.555	0.263	6.31	↓
②-b	主桁	0.625	80	1~3	0.555	0.347	83.28	↓
③-a	対傾構	1.310	20	1・3	0.278	0.364	14.56	↓
③-b	対傾構	1.330	12	1・3	0.278	0.370	8.88	↓
③-c	上下横構	2.400	16	1・3	0.278	0.667	21.34	↓
③-d	対傾構	1.110	20	2	0.278	0.309	6.18	↓
③-e	対傾構	1.150	12	2	0.278	0.320	3.84	↓
③-f	上下横構	2.300	16	2	0.278	0.639	10.22	↓
計							287.28 m2	

ブランクシート	165.51
プレート	141.23
レール	287.28
合計	594.02 m2

断面図 S=1:80

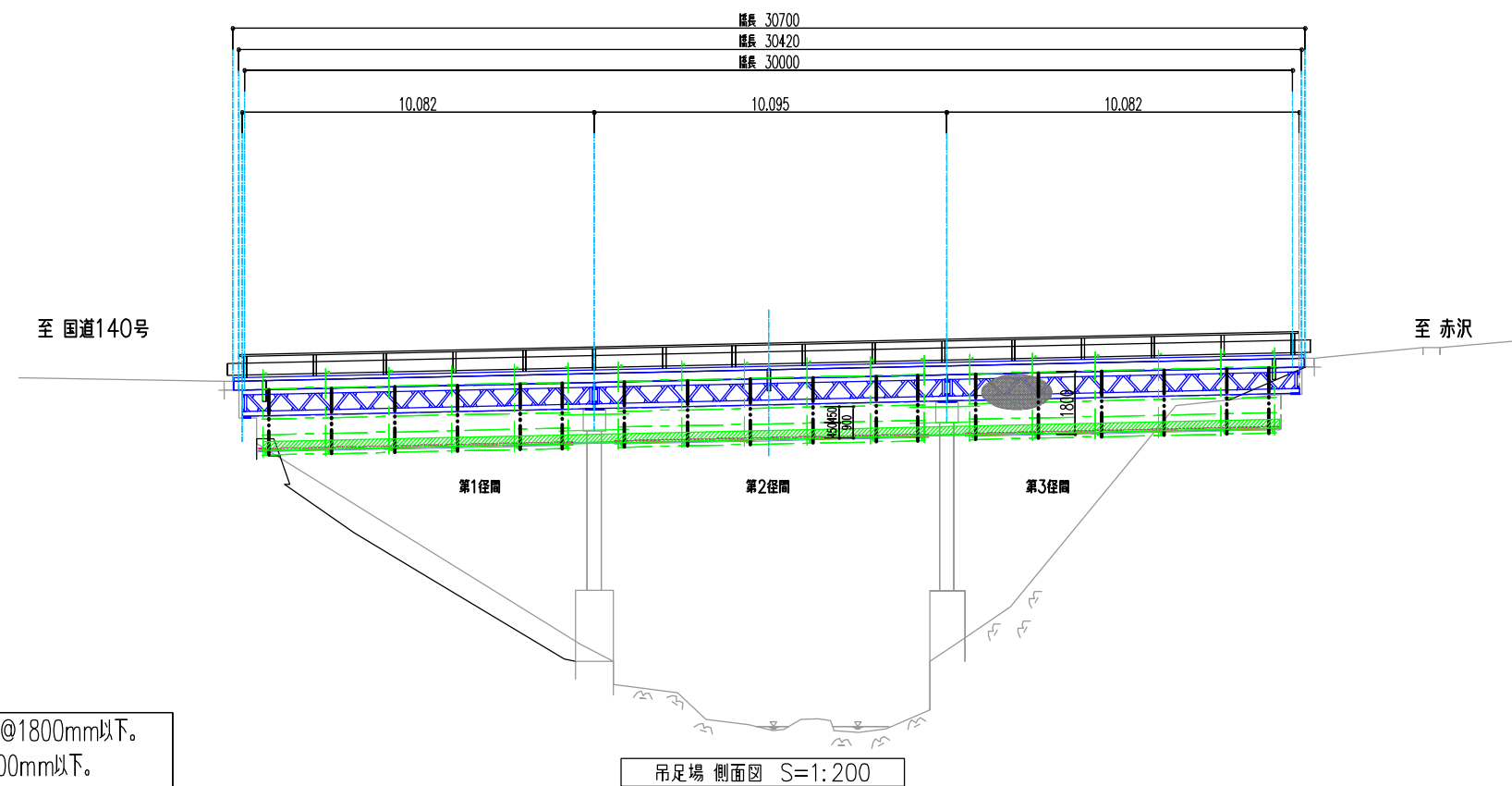
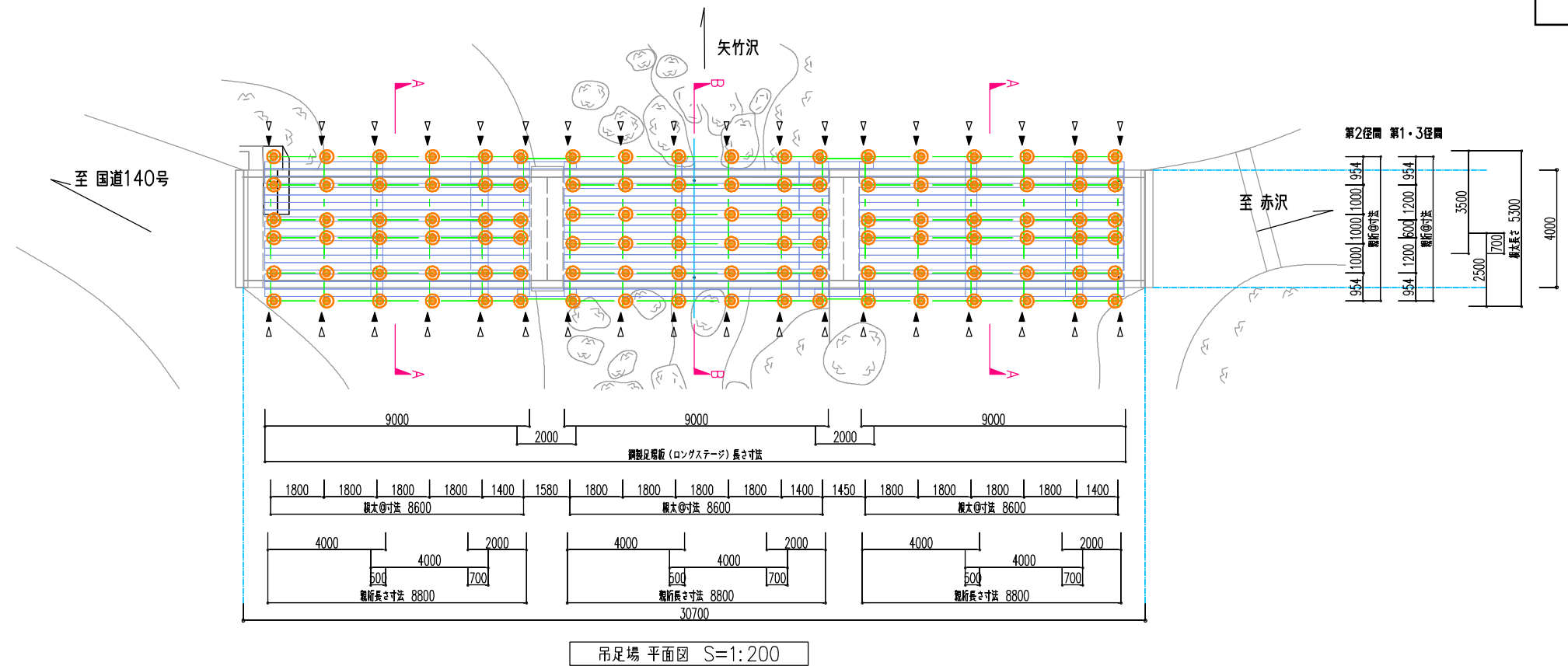


第2径間



特記事項	業務名称	工事名称	東京大学	縮尺	年度	図面番号
	東京大学（秩父）矢沢橋改修設計業務	東京大学農学部附属秩父演習林矢沢橋改修工事	THE UNIVERSITY OF TOKYO	図示	R 8	設 - 7 - 3
	愛郷設計 株式会社	図面名称				
		塗装工				

概要図



平面凡例

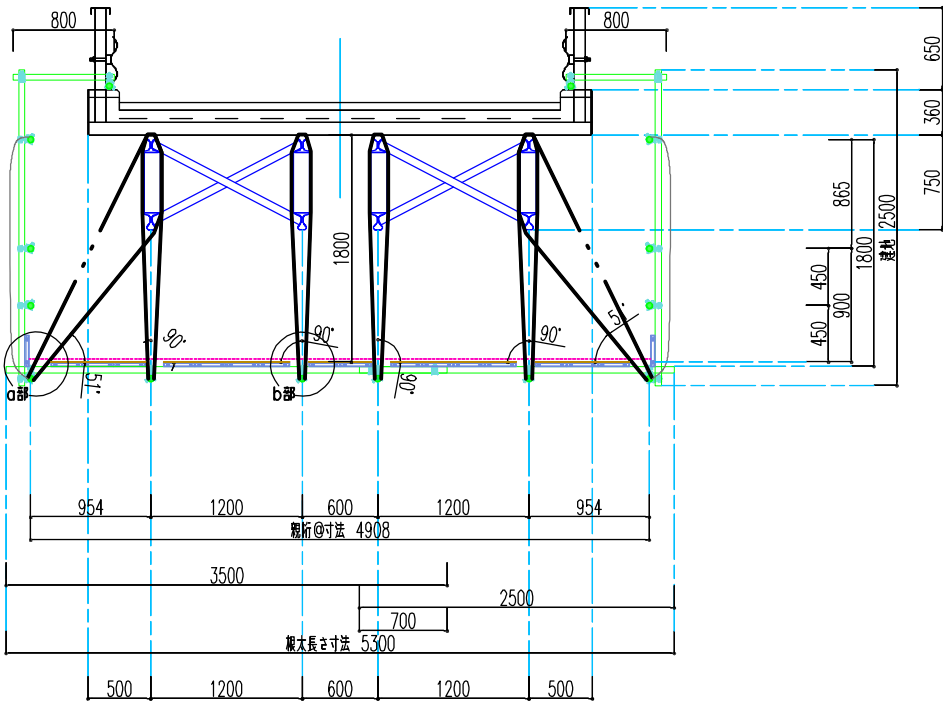
◎	吊チェーン設置位置
▲	建地設置位置
△	水平つなぎ設置位置

特記事項

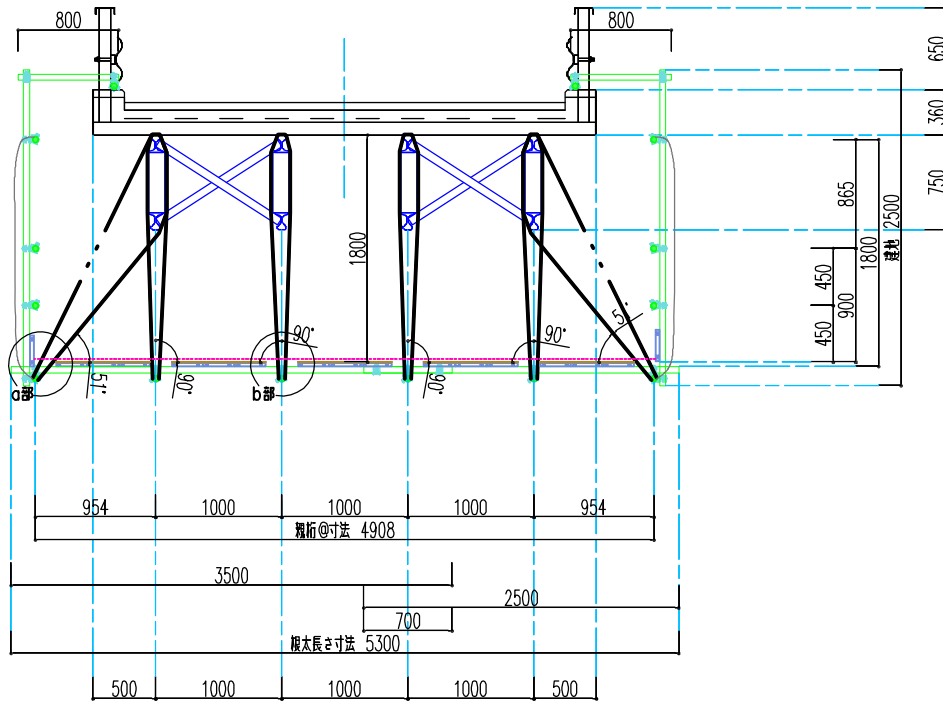
- ・吊チェーン設置間隔は、@1800mm以下。
- ・建地設置間隔は、@1800mm以下。
- ・水平つなぎ単管設置間隔は、@1800mm以下。

特記事項	業務名称	工事名称	 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO		
	東京大学（秩父）矢竹沢橋改修設計業務	東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事			
	愛郷設計 株式会社	印	図面名称	縮尺	年度
			足場工（1）	図示	R 8
					図面番号
					設 - 7 - 4

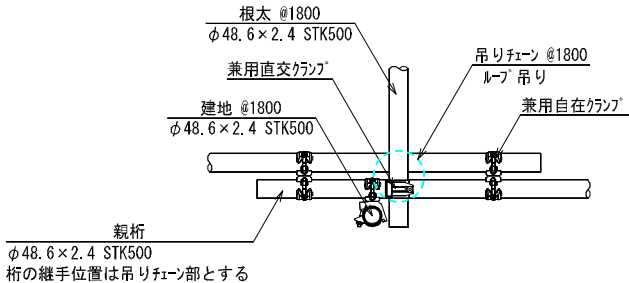
概要図



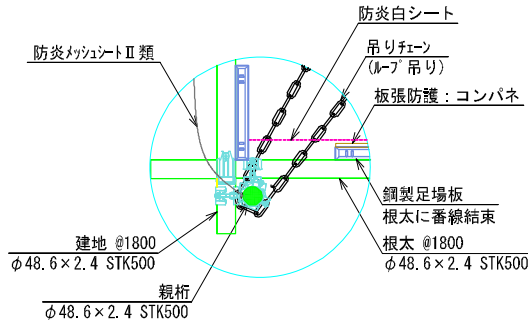
A-A 断面图 S=1:60



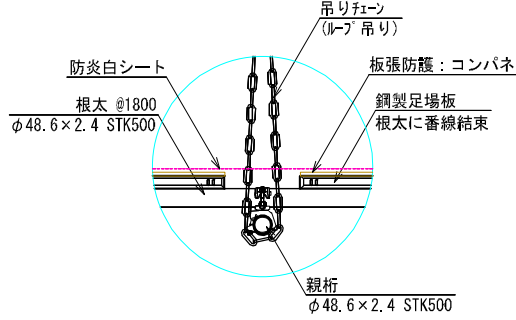
B-B 断面图 S=1:60



親桁ジョイント 詳細図 S=1:20



a部 詳細図 S=1:20



b部 詳細図 S=1:20

特記事項

- ・吊チェーン設置間隔は、@1800mm以下。
- ・建地設置間隔は、@1800mm以下。
- ・水平つなぎ設置間隔は、@1800mm以下。

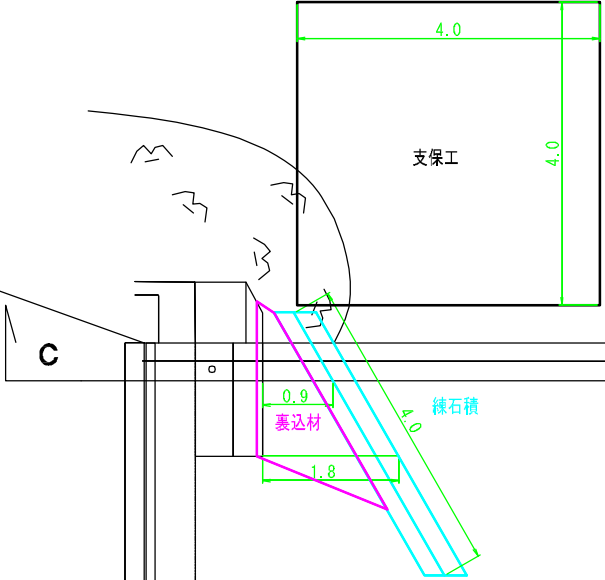
特記事項	業務名称	工事名称	 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO		
	東京大学(秩父)矢竹沢橋改修設計業務	東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事			
	愛郷設計 株式会社	印	図面名称	縮尺	年度
				図 示	R 8
			足 場 工 (2)	図面番号	
				設 - 7 - 5	

概要図

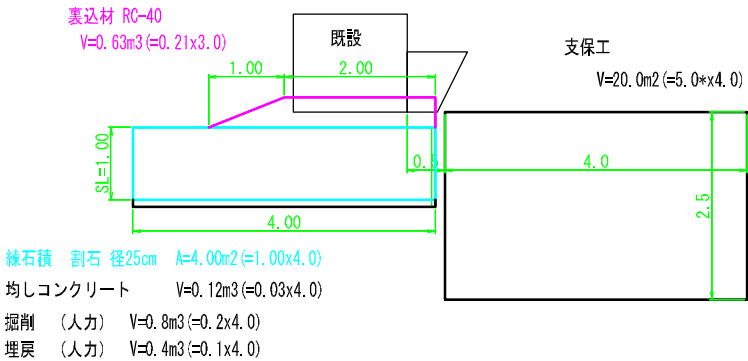
橋脚の剥離等の補修 S=1:80

起点側 橋台基礎補修 S=1:100

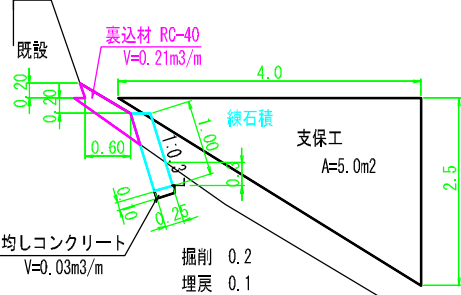
平面图



正面図



断面図 (c-c)



終点側

終点側橋脚

起点側橋脚

下流側

起点側橋脚

起点側

剥離等の補修 はつり $t=3\text{cm}$ 、ケレン・防錆、断面修復モルタル

箇所数 5箇所

面積 $A=0.5 \text{ m}^2$ (=最小値 $0.1\text{m}^2/\text{箇所} \times 5 \text{ 箇所}$)

体積 $V=0.007\text{m}^3$ ($=0.13 \times 0.05$)

梁部下面剝離

□ 0.20x0.15x2箇所

起点側

終点側

梁部下面剝離

終点側
梁部下面剥離

起点側
梁部下面剝離

起點側
橋腳剝離

支柱录

□ 0.10x

☐ 0.10x

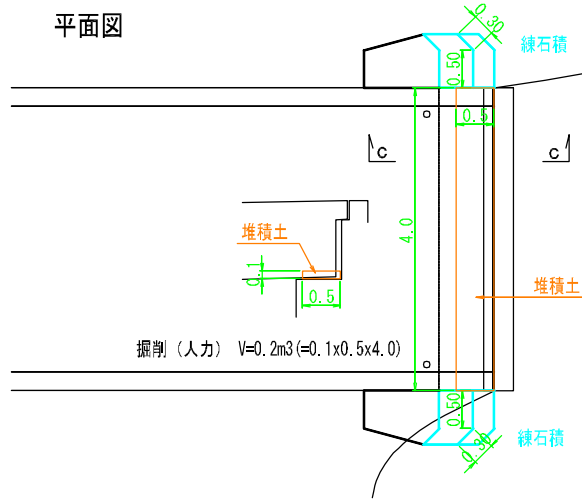
上流側

下流側

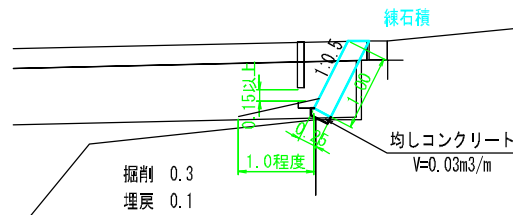
上流側

終点側 排水機能改善 S=1:100
堆積土撤去

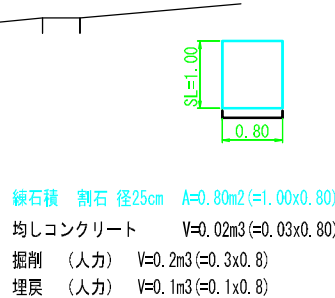
平面图



断面図



正面図

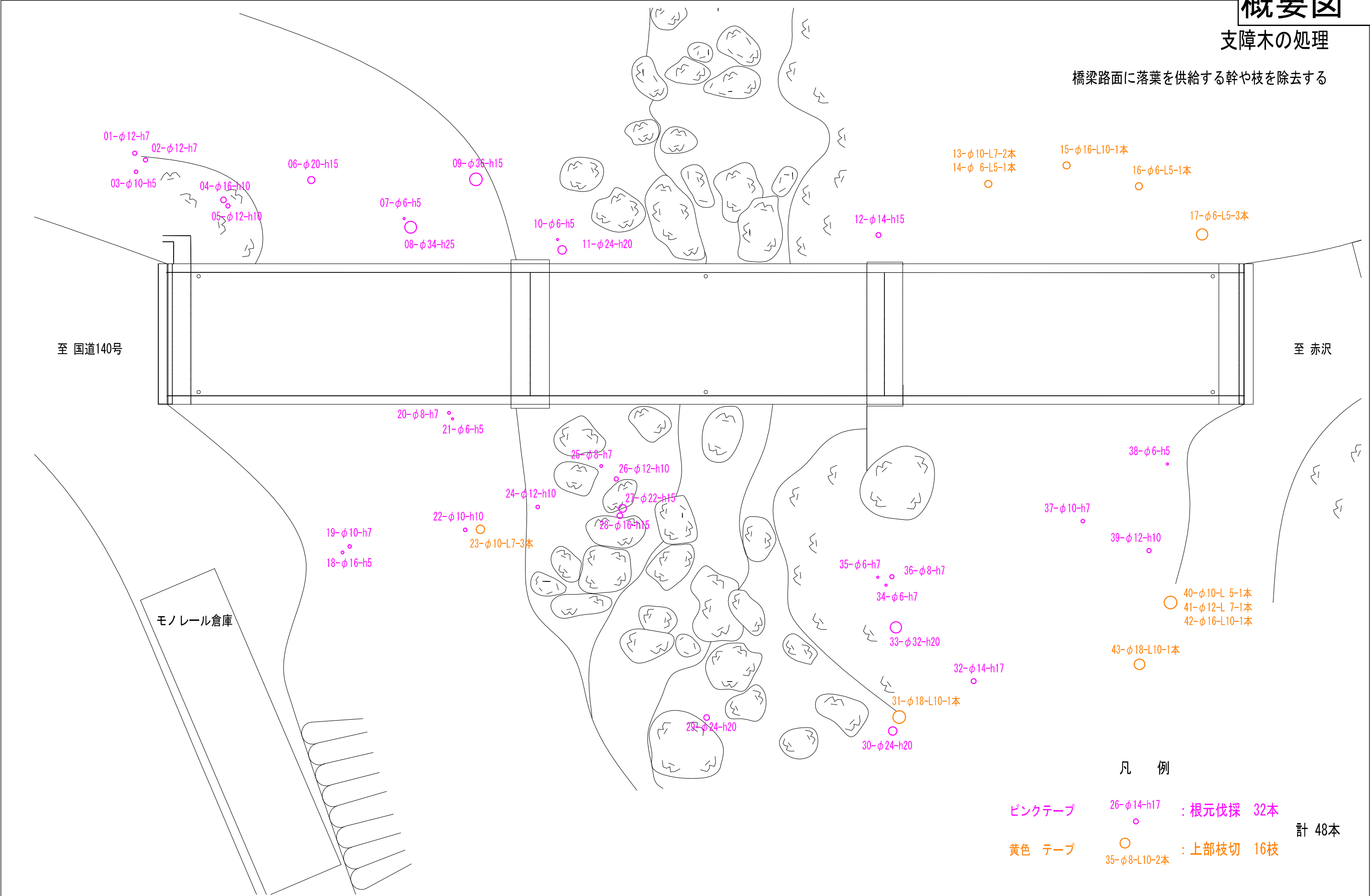


特記事項	業務名称		工事名称		東京大学		
	東京大学(秩父)矢竹沢橋改修設計業務		東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事				
	愛郷設計 株式会社	印	図面名称	縮尺	年度	図面番号	
							付帯施設工

概要図

支障木の処理

橋梁路面に落葉を供給する幹や枝を除去する



特記事項	業務名称 東京大学（秩父）矢竹沢橋改修設計業務		工事名称 東京大学農学部附属秩父演習林矢竹沢橋改修工事		東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO			
	愛郷設計 株式会社		印	図面名称 支障木処理		縮尺 1 : 100	年度 R 8	図面番号 設 - 7 - 7